

JAPANESE DANCE

東西名流舞踊鑑賞会

第36回舞踊公演

平成30年

10月13日 土

第1部 / 午後1時開演

清元	長唄	長唄	清元	地歌
山	松	女	北	長
	の	伊	州	刀
姥	翁	達		八
				島
吉	若	水	花	井
村	柳	木	柳	上
輝	壽	佑	寛	安
章	延	歌	十	寿
			郎	子

第2部 / 午後4時30分開演

清元	長唄	地歌	長唄	地歌
熊	一人		水	
野	の	雪	仙	
	乱		丹	
			前	
山	花	吉	市	
村	柳	村	川	
友	柳	輝	ぼ	
五	吉	尾	たん	
郎	蔵	尾		
	楽			

〔演奏〕柗屋東成・柗屋勝祿連中 / 清元美寿太夫・清元美治郎連中 / 菊原光治社中 / 米川敏子 (囃子) 藤倉昌浩連中

予約開始 9月11日(火)午前10時~
 (電話) 国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
 0570(07)9900/03(3230)3000 (一部IP電話等)
 (インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

入場料金 6,700円・学生 4,700円
 (第1部・第2部セット料金 11,400円)
同席者の方は2割引です。
 ※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。
 窓口販売開始 9月12日(水) チケット売場
 [午前10時~午後6時]

国立文楽劇場 (大阪)
 National Bunraku Theatre
 〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
 06(6212)2531(代表)
<http://www.ntj.jac.go.jp/>
 [English] <http://www.ntj.jac.go.jp/english.html>



東西名流舞踊鑑賞会

JAPANESE DANCE

平成30年 10月13日(土)

季節に彩られ、人のこころを美しく描き出す舞踊の名作を、東西の名手が披露します。
今回は明治150年記念にちなみ、明治期に作られた「松の翁」「明治松竹梅」の名曲とともに、
古典から昭和の新作まで、お楽しみいただける、この秋必見の舞台です。

第一部 午後1時開演(3時10分終演予定)

地歌 長刀八島

能「八島」に取材した名曲で、長刀を使
う型の「長刀八島」は四世井上八千代
の名演により井上流の代表作ともなっ
た作品です。初出演となる井上安寿子
の舞に期待が高まります。

清元 北州

北州とは江戸の北に位置する吉原のこ
とで、廓の四季の風物と情緒を描く作
品です。清元のご祝儀舞踊の代表曲を、
花柳寛十郎が格調高く踊ります。

長唄 女伊達

江戸・吉原仲の町の景色の中に粋な女性
の心意気を描きます。カラミも出て派手
な立ち廻りもあり、八年ぶりの出演となる
水木佑歌が艶やかに踊ります。

長唄 松の翁

静岡県富士市の大地主・松永氏の庭園に
植えられた松の古木を擬人化し、明治初
期の漢語流行を取り入れた、まさに明治
維新の社会変動を反映した作品です。
明治の香りを若柳壽延が踊ります。

清元 山姥

山の奥深くに棲む山姥が、四季折々の景色
を美しく歌い上げます。季節の花々が
叙情的に描かれ、生きとし生けるもの
命の輝きを吉村輝章の踊りで描きます。



第二部 午後4時30分開演(7時25分終演予定)

長唄 水仙丹前

古風な中にも華やかさを持った演目
です。曲の歌詞に「水仙の花の姿や」とある
ところから「水仙丹前」とよばれます。
初出演の市川ぼたんが清々しい踊り
を披露します。

地歌 雪

名曲「雪」を舞う吉村輝尾は名古屋の
舞手です。傘が効果的に使われ、恋しい
人への募る思いを描きます。世を捨て
門に入った女性は、雪景色の中に響く鐘の
音に心の闇を打ち払います。

長唄 一人の乱

一族を失った武将・安倍宗任のただ一人の
反乱で、敵味方として戦いながらも、互い
の武勇を認めあう宗任と源頼義。二人の
間の緊迫したドラマをシンプルな素踊り
で描いた二代目花柳壽楽の作品です。
昭和60年初演。宗任・花柳寿楽、頼義・
若柳吉蔵の二人が描きます。

清元 熊野

能「熊野」に取材した作品で、平宗盛が寵
愛する熊野は、母の見舞いのため暇を願
い出ます。母を想い花見の宴で舞う熊野の
心情にうたれ願いを聞き入れます。尾上
菊見が熊野と宗盛の二役を踊り分け
ます。

箏曲 明治松竹梅

明治の新箏曲代表曲で、歌詞は松竹梅に
まつわる勅題の御製・御歌を七首年代順
に配したものです。今回は山村友五郎
が振付しての上演で、明治一五〇年記念
の掉尾を飾ります。



撮影=後山紀信

●出演者などの変更の場合はご了承ください。

予約開始

9月11日(火)午前10時~
(電話)国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
0570(07)9900
03(3230)3000 [一部IP電話等]
(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

窓口販売開始

9月12日(水) チケット売場 [午前10時~午後6時]
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。
入場料金
6,700円・学生4,700円
(第1部・第2部セット料金11,400円)
※障害者の方は2割引です。※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。
一般のみ取り扱い チケットぴあ 0570(02)9999 [Pコード:484-331]
9月11日(火)より <http://pia.jp/>
ローソンチケット 0570(000)407 [Lコード:54597]

国立文楽劇場 (大塚)
地下鉄・近鉄(日本橋) 駅下車7号出口より東へ徒歩約1分
※駐車場がございませんのでお車のご来場はご遠慮ください。